

「de mano(じまあの)」は、牛豚肉を加工する「まあの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まあの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。

「mano」はエスペラント語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を入れています。

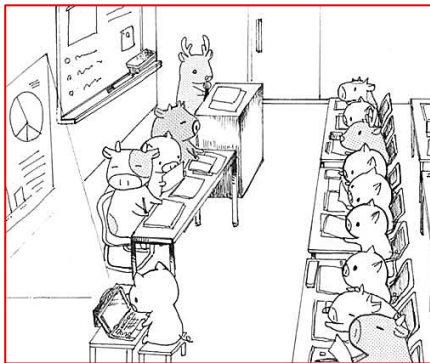
まあの から
de mano
エスペラント語で「mano」は「手」、
「de」は「～から」という前置詞です。

発行:まあの 【火曜定休】
兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6
☎ 06-6495-2546
📠 06-6495-2900
✉ mano0298@snow.plala.or.jp
HP <https://www.e-sora.net/mano/>

第33回ミートミーティング ご案内

今回はまあの牛肉加工を受け継いで下さる事業者として「さんさんファーム」を紹介する場になります。

さんさんファームからは原実さんが来られます。宮下大道さんは検討中です。大鹿村からは青木連さん、昨年牛飼いをやめられた福沢良紀さんも挨拶に来られます。放牧豚の清野光弘さんは映像参加です。皆さんもどうぞお集り下さい。



日時 2月28日(土) 午後1時半～4時半

スケジュール

- 1時半～2時15分 挨拶、生産説明
- 2時15分～2時半 休憩
- 2時半～4時半 事業引き継ぎ説明・意見交換
(5時～6時半 交流会)

場所 NLC 新大阪8号館9階、904号室

新大阪から徒歩8分、西中島南方から徒歩5分

※ 「NLC 貸会議室」で検索下さい

交流会は、近くの「香満桜」

参加費 無料(交流会は自己負担)・飲み物は各自用意

申込 まあのまでメール、ファックスで
グループ所属の方はそれぞれへ

先号の「ツブヤキ」で、さんさんファームの宮下さんたちと話し合ったことを伝えました。代表の宮下さんから、約束通り12月31日夕方に電話がありました。まあの牛肉加工を引き継ぎたいとのこと。正直ほとんど断られるだろうと考えていたので少々驚きました。内容として、とりあえずアルプス牛でなく青木さんの和牛を一頭販売してみるところから始めてみたいとの

こと。妥当な判断とも思いますが、一頭買いでいったん区切ると過不足調整が大変です。ともかく引き継いでみる決断をしていただいたことに感謝します。これからミートミーティングに向けて、牛肉加工事業引き継ぎの中身を早急に詰めていきます。

社会はどう動いてる？

ーマルティン・ニーメラーの詩を紹介しませー

ナチスが共産主義者を連れて行った時、私は黙っていた。
共産主義者ではなかったからだ。

社会民主主義者が締め出された時、私は黙っていた。
社会民主主義者ではなかったからだ。

労働組合員が連れていかれた時、私は黙っていた。
労働組合員ではなかったからだ。

そして彼らが私を追ってきた時、私のために声を上げるものはもう誰一人残っていなかった。

(ニーメラー：ドイツの神学者で、反ナチ運動家)

昨年10月に高市政権が始まって以来、右傾化が急速に進んでいます。2027年度目標の防衛費 GDP 2%を、トランプの要請にこたえて25年度に前倒し、殺傷武器の輸出拡大、「スパイ防止法」「国旗損壊罪」の制定も視野に、参政党の「日本ファースト」にこたえて外国人への規制強化…。世界を見ても国際的な右派勢力の台頭、責任ある大国のルール違反、ロシアも中国もアメリカも武力で片を付けようとしています。国際法の大原則「武力による現状変更の禁止」「法の支配」など全く無視しています。

高市政権が高い支持率を維持している世の中では、私のこんな書き方そのものが多くの人からは避けられてしまうのでしょうか。

でも声を上げないといけない。今回「市民意見広告」のピラを同封しています。私は毎年賛同しています。ご理解いただければ幸いです。

＜新総理 ケンカ売ります 武器も売る＞(朝日川柳)

師走ですね

希望農場・12月農場たより 清野光弘

早いもので今年も12月、師走になりました。

11月に家の周りの木の雪囲いを終わらせ、雪の準備が整いました。11月は雪が降りましたが気温が高く、すぐに溶けてしまい…そんなことを繰り返していました。しかし12月に入ると最低気温がマイナスになり、最高気温もプラス5℃くらいまでしか上がらずとうとう根雪の時期となりました。これからまた、寒さと雪との戦いになります。自然との戦いは仕方がないことですが、世界ではまだ戦争が続いています。嘆かわしいことです。



そんな時にまた大きな地震がありました。夜11時過ぎ、布団に入り寝付いた時のことでした。スマホの地震情報の音が大きく響き、慌てて起きるとかなり大きな揺れで、テレビをつけてその情報を得ることにしました。青森で震度が6強と速報が出て津波警報まで出ました。私が住んでいるところは津波の心配がないのですが、やはり東北の大震災のことが思い出されました。津波は来ましたがそれほど大きなものではなく、みなさんひと安心したと思います。北海道は、冬の時期の地震となると暖を確保するのが大変です。電気が止まりストーブを使うことができないからです。そうなる車と車のヒーターに頼るしかなく、私もこちらの大地震のあとは給油をかかさずにすることにしています。皆様も地震や自然災害の対策はされていると思いますが、気を許さないことが大切だと思います。

放牧豚たちですが、寒くなってきた農場のなかで元気で放牧地を走り回っています。さすが寒さには強いですが。中には降り積もった雪を美味しそうに食べている放牧豚もいます。ただ夜は寒いのか、パイオベッド（おがくずに発酵菌を混ぜ合わせて表面温度が25℃くらいになります）でかたまって寝ています。豚たちも一年中自然と戦っています。しかしそれが微笑ましく思います。私たちも負けてはいられないと。

皆様のところも寒さが厳しくなってくると思います。明るい年越しができるよう祈っております。私たちは寒さや雪に負けず皆様に美味しいお肉をお届けします。

山の記録

天狗堂(滋賀県東近江市) 1月7日

先月の日本コバのすぐ近くです。道路は除雪してあり、スムーズに登山口へ。神社で安全祈願して、すぐ急坂へ。早速ロープありです。尾根に上がってからはアップダウンを繰り返しつつ、だんだん雪も深くなります。先行者があるようで、靴跡をトレースして登れます。途中でアイゼンが置いてあり、その先はスノーシュー跡です。ここで履き替えられたのでしょうか。スノーシュー跡を頼りに必死で登っていくと、下りてくる人と会いました。「あそこで履き替えたんですね?」「雪が深すぎてアイゼンでは無理でした」こっちはそれどころかスノーブーツだけです。「頂上から周回しようと思うんですが…」「それはやめた方がいいです。踏み跡はないし、雪も深いですから、ピストンがいいですよ」「そうします」いつまでたっても素人登山で、出会う人に助けられています。「あと20分くらいですかね?」「行けるでしょう」と別れました。最後は岩場で雪が深く、かなりてこずって20分は無理でしたが、11時ようやく頂上。天狗が集まるのでなく世界の賢者が集まって、わがままな超大国のトップを懲らしめる相談をしてほしい。展望岩まで足を延ばす気力もなく、早々に下山します。下りはよく滑って、何度も転倒しました。こんな時ロープはありがたい。何とか1時間で下りてきました。道の駅で立派な白菜とキャベツを買って帰りました。



ニクヤノツブヤキ

- ◇ 年末に引いた風邪が年を越しても治りません。症状は軽く、動けますが長引くのはやはり加齢だからでしょう。改めて全体の“自動運動”をやり直しています。(幸治)
- ◇ 尼崎市内の団地の植え込みに緑の人工芝や黒いシートが敷き詰められたところがあります。除草の手間を省くためか、樹木のすぐ根元まで覆われていて痛ましい。(幸子)